

# 12月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔平成28年12月末現在〕

平成29年1月11日  
茨城県中小企業団体中央会

12月は、クリスマス商戦や歳末商戦等の恩恵もあり、全体DI値で見ると売上高が好調に推移し、10月から3カ月連続での改善となりました。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると「景況」「売上高」は改善しましたが、「収益状況」は悪化となりました。

業種別にみると、製造業では、「収益状況」は変化はなく、「景況」「売上高」は改善となりました。また、非製造業では、「売上高」に変化はなく、「景況」「収益状況」は悪化となりました。

## 景況DI

製造業は、前月比11.5ポイント改善の-15.4ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント悪化の-33.3ポイント、全体では、2.0ポイント改善の-24.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比15.4ポイント改善の-3.8ポイント、非製造業は、前月比±0.0ポイントの-8.3ポイント、全体では、8.0ポイント改善の-6.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比±0.0ポイントの-23.1ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント悪化の-16.7ポイント、全体では、2.0ポイント悪化の-20.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成28年12月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	パン	一部の市町村では、休業業による業者数の減少に伴い契約数が増加している組合員企業もある。県全体では、少子化等の影響から、パン需要が大幅に減少しており、組合として抜本的な対策の見直しの検討が必要である。
		味噌	
		酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 課税移出数量は、9月以降前年割れが続いていたが、11月に入り前年同月比104.4%と持ち直しの動きを見せた。そのうち、特定名称酒については前年同月比103.6%。また、普通酒においては、近年になく前年同月比105%とプラスで推移。本格焼酎についても前年同月比104.2%とプラスで推移したが、今年度の落込みをカバーするには至っていない。10月は新たな酒造年度を控え在庫を極力圧縮していたが、11月は全醸造蔵が普通酒を主体に新酒の移出が増加傾向となった。  ○日本酒造組合中央会主催による「日本酒で乾杯推進会議茨城大会」(10/21)の開催に伴い、事前準備(詳細企画等)を行い、3月末を目途に一斉広報の予定。 1月25日～31日まで、東京恵比寿 三越において、茨城県地場産業推進事業として試飲販売を実施予定。また、3月から3ヶ月間、成田国際空港ANAラウンジにて、試飲PRを実施する。
		納豆	個人消費があまり良くない状態が続いており、低価格の商品が売れている状況である。 円安が進むと原料や油等の輸入品が高くなり、経営の悪化が心配される。
		菓子 織物 縫製	
	繊維工業	袋物	各組合員企業とも歳末商戦の恩恵を受け、年末にかけて受注量が増加傾向にあった。引き続き2017年に期待したい。
	木材・木製品	製材	製品市場や問屋では、例年より製品入荷が少なく品薄感が見られた。そのため、価格は前月に比べて若干の値上がり傾向で推移している。  プレカット工場は、大手ハウスメーカー向け中心に受注が増加している。
		プレカット	資材(合板・KD材)の欠品等の影響により、当月の売上高は目標の約80%に留まった。
	紙・紙加工	段ボール	昨年に比べ、売上の悪い組合員企業が多い。一方、大手企業では売上数量が好調に推移しており、大手との差が一段と開いてきているように感じる。先行きが心配である。
	印刷	軽印刷 総合	
	化学・ゴム	プラスチック製品 石材 コンクリート製品	
	窯業・土石製品	焼物	秋のイベントが終了し、業界としては一段落。1年を振り返ると、震災以降、売上高は一時落ち込みをみせていたが、少しずつ上向きに推移。しかし、ここ最近では横這いとなっており、何とか改善できるよう努めていきたい。
	鉄鋼・金属	鍍金	売上高は前年度並となった。 自動車部品は低調であったが、建設機械・産業機械は短納期の仕事が増加した。また、建築・建設関係の業種は前年並の水準で比較的安定しており、業界全体の景況は、前年並に推移している。  金属材料(銅、ニッケル、亜鉛等)は10～15%の値上がり傾向にあるが、工業薬品の価格は大きく変わっていない。また、灯油・重油・ガソリン等、燃料費が値上がりしているが、電力費が値下がり傾向にあるので助かっている。
	一般機器	精密機器	
		工業団地	○対象7組合(製造会社)の売上状況は、前年同月比でみると増加6社、減少1社、全体増減率101%となった。  ○市場(得意先生産等)動向と組合員への影響 エンジン部品を取り扱っている組合員は、コンバイン等排ガス規制前の駆け込み需要の期待から売上高の増加が見込まれる。しかし、主力であるトラクター部品の受注が減少しており、団地全体の売上高は微増で推移。
	電気機器	重電	
		電化機器	当月の生産高は自動車関連事業所、特に電子部品の受注を主としている事業所により、前年同月比30.1%増となった。一方、家電関連事業所における生産高は依然として厳しく、前年同月比を超える受注回復はしていない。
	輸送機器	自動車部品 昇降機	売上高等、未だ安定はしていないが、相対的にみるとやや明るさが見られ始めた。
	その他の製造業		

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成28年12月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	水産卸	精算所取扱高は前年同月比1.81%の減少。 12月27日～28日にかけて開催した、仲卸関連店舗による年末感謝市では、一般客で賑わいを見せた。
	県南地区卸売	
	食品卸売業	野菜・果実合計で前年同月比109%の取扱高となった。秋以降の天候不順による生育遅れや生産減のため、11月に比べると落ち着きが見られ、前年同月比でみると数量減、単価高で推移した。特に果実(苺)に関しては、クリスマス需要に対して十分な供給量とならず、前年に比べ大幅な単価高で推移となった。
	セメント	袋セメントの出荷袋数は、11月に11%の増加、12月に3%の減少と年度後半に盛り返したため、平成28年度の出荷数量は暦年で前年比10%の減少に留まった。
小売業	県北地区共同店舗	クリスマス商戦では、期待していた程の成果が見られず、前年同月比で売上高95.9%、客数82.6%と大変厳しい月となった。
	県央地区共同店舗	前年同月比の売上高は、既存店ベースで100%で推移。衣料品、食料品において回復の兆しがあるものの、未だ厳しい状況に変わりはない。
	県南地区共同店舗	衣料品(特に婦人)が大苦戦となり、前年同月比の売上高は、92%となった。クリスマス商戦においても、大型SC販促には前年同月比の客数も91%と盛り上がり欠ける結果となった。後半は、クリスマス等のイベントもあり、食料品等は順調に推移したが、全体的に物販が苦戦を強いられる結果となった。
	クレジット	
	家電	白物家電(洗濯機・冷蔵庫・レンジ等)は、入れ替え推進を行い売上高は前年同月比で横這いに推移。冬物については、暖冬の影響により不調となった。更に、ネット販売の拡大により、専門店では厳しさを増している。
	石油	原油価格は安定しているが、円安の進行によりガソリンの販売価格は前年同月比で2.5円上昇している。経営環境は依然として組合員の仕入価格を下回るような安値での販売競争が続いている為、廃止・休業等に追い込まれている組合員が出ている。
	農機具	
	中古車	例年に比べ、仕入れ・販売を行うオークション事業の実施日数が少なくなったことが影響し、中古車販売台数は若干の失速となった。
商店街	水戸 筑西 総合	
建設業	電気工事	街路灯の設置工事等により、県南地区の仕事量が増加。業界全体としても、景況がやや好転し始めている。
	管工事	
	交通安全施設業 鉄筋	
サービス業	ホテル・旅館	原材料費の高騰、宴会離れ等の影響もあり、料金調整をして収益をふくらませた状況が見られた。入れ込み客数としては、増加傾向にあるが、なかなか宿泊につながっていないことが今後の課題である。
	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の前年同月比は、普通車、軽自動車ともに減少となった。  普通車……97.6% 軽自動車…95.2%
運輸業	一般貨物運送	平成28年12月の組合員数は118名、車輛台数は153台。1月から12月の1年間で、組合員数は5名増加した。
	県北地区 一般貨物自動車運送	主要顧客の出荷物量は例年同様に推移。 燃料価格が値上り傾向にあり、経営を圧迫している。
その他の非製造業		

非製造業

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	平成29年10月21日(土)日本酒造組合中央会主催の「日本酒で乾杯推進委議茨城大会」開催が決定。行政当局・各種団体からの協力をお願いしたい。
小売業	石油	揮発油税に関する消費税を課税している二重課税の廃止

月次景況調査 12月のDI (前年同月比)

項目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	12月	11月	前月比	12月	11月	前月比	12月	11月	前月比
景況	▲ 24.0	▲ 26.0	2.0	▲ 15.4	▲ 26.9	11.5	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 8.3
売上高	▲ 6.0	▲ 14.0	8.0	▲ 3.8	▲ 19.2	15.4	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 0.0
収益状況	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 2.0	▲ 23.1	▲ 23.1	0.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 4.2
販売価格	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 15.4	▲ 15.4	0.0	8.3	8.3	0.0
取引条件	▲ 12.0	▲ 12.0	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	3.8	▲ 8.3	▲ 4.2	▲ 4.1

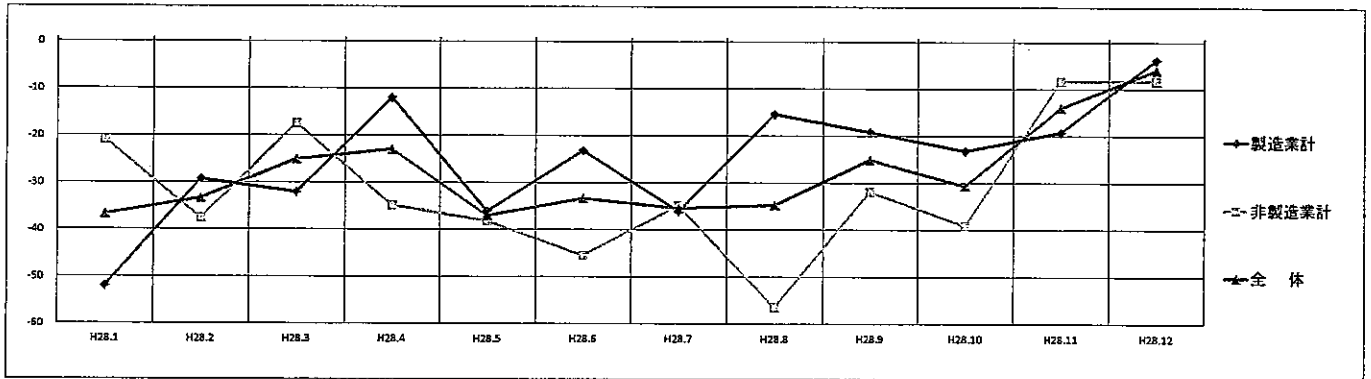


## D I 値推移表 (H28.1月 ~ H28.12月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	H28.1	H28.2	H28.3	H28.4	H28.5	H28.6	H28.7	H28.8	H28.9	H28.10	H28.11	H28.12
食料品製造業	▲ 20.0	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 60.0	▲ 36.8	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 31.6	▲ 30.0	▲ 47.4	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 10.0	0.0
製造業計	▲ 52.0	▲ 29.2	▲ 32.0	▲ 12.0	▲ 36.0	▲ 23.1	▲ 36.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 3.8
卸売業	0.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0	50.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 81.8	▲ 40.0	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 80.0	▲ 40.0	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 18.2
サービス業	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	100.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 20.0	0.0	▲ 50.0	▲ 40.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 37.5	▲ 17.4	▲ 34.8	▲ 38.1	▲ 45.5	▲ 34.8	▲ 56.5	▲ 31.8	▲ 39.1	▲ 8.3	▲ 8.3
全体	▲ 36.7	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 22.9	▲ 37.0	▲ 33.3	▲ 35.4	▲ 34.7	▲ 25.0	▲ 30.6	▲ 14.0	▲ 6.0

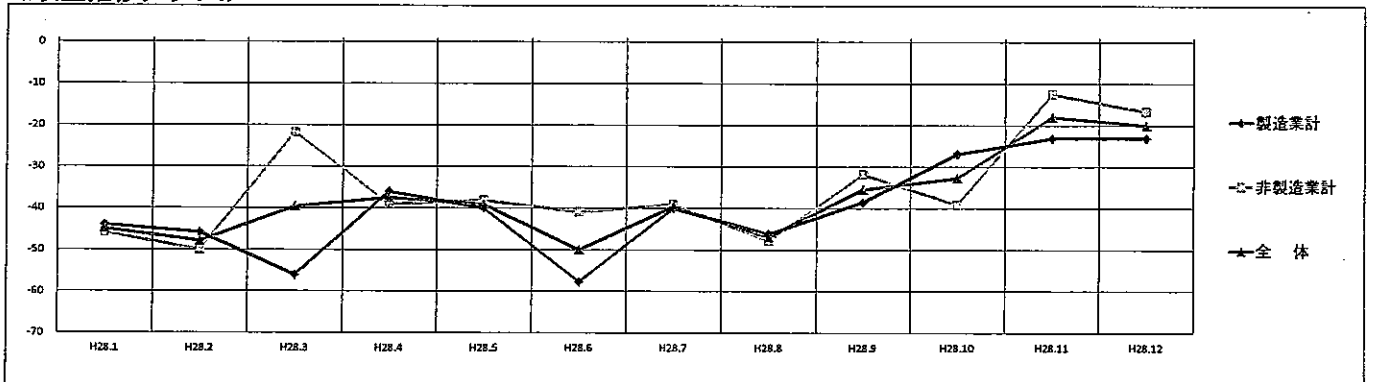
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	H28.1	H28.2	H28.3	H28.4	H28.5	H28.6	H28.7	H28.8	H28.9	H28.10	H28.11	H28.12
食料品製造業	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 45.0	▲ 52.6	▲ 57.9	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 60.0	▲ 57.9	▲ 55.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 44.0	▲ 45.8	▲ 56.0	▲ 36.0	▲ 40.0	▲ 57.7	▲ 40.0	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 23.1
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	25.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 40.0	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 70.0	▲ 45.5	▲ 70.0	▲ 40.0	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 36.4
サービス業	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	100.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 40.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 45.8	▲ 50.0	▲ 21.7	▲ 39.1	▲ 38.1	▲ 40.9	▲ 39.1	▲ 47.8	▲ 31.8	▲ 39.1	▲ 12.5	▲ 16.7
全体	▲ 44.9	▲ 47.9	▲ 39.6	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 50.0	▲ 39.6	▲ 46.9	▲ 35.4	▲ 32.7	▲ 18.0	▲ 20.0

### 《収益推移グラフ》

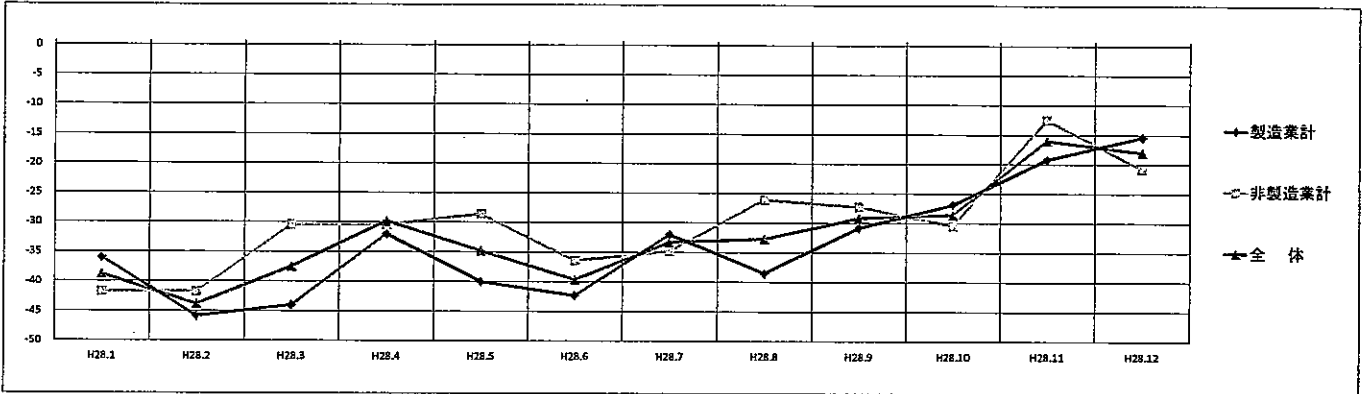


# D I 値推移表 (H28. 1月 ~ H28. 12月期)

## 《資金繰りの推移》

前年同月比	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9	H28. 10	H28. 11	H28. 12
食料品製造業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 47.4	▲ 47.4	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 45.0	▲ 42.1	▲ 45.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 36.0	▲ 45.8	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 42.3	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 15.4
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	50.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 50.0	▲ 45.5	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 45.5	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 36.4
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 28.6	▲ 36.4	▲ 34.8	▲ 26.1	▲ 27.3	▲ 30.4	▲ 12.5	▲ 20.8
全体	▲ 38.8	▲ 43.8	▲ 37.5	▲ 29.8	▲ 34.8	▲ 39.6	▲ 33.3	▲ 32.7	▲ 29.2	▲ 28.6	▲ 16.0	▲ 18.0

## 《資金繰り推移グラフ》



## 《景況の推移》

前年同月比	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9	H28. 10	H28. 11	H28. 12
食料品製造業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 50.0	▲ 42.1	▲ 57.9	▲ 26.3	▲ 36.8	▲ 45.0	▲ 47.4	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 25.0
製造業計	▲ 44.0	▲ 37.5	▲ 52.0	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 36.0	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 15.4
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 60.0	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 54.5	▲ 70.0	▲ 50.0	▲ 72.7	▲ 45.5	▲ 36.4
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	100.0	0.0
建設業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 54.2	▲ 54.2	▲ 34.8	▲ 47.8	▲ 42.9	▲ 45.5	▲ 43.5	▲ 52.2	▲ 40.9	▲ 52.2	▲ 25.0	▲ 33.3
全体	▲ 49.0	▲ 45.8	▲ 43.8	▲ 31.9	▲ 39.1	▲ 41.7	▲ 39.6	▲ 40.8	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 26.0	▲ 24.0

## 《景況推移グラフ》

